年頭にさいし

市長　西村盛之

輝かしい昭和三十六年の初春を迎え、四万一千市民のいやさかを心から祈念してやみません。

南国市も発足して一年余何分にも旧十五ケ町村の合併であつて、各々しきたりも家風もちがいます。これを一本の筋にするため相当骨が折れました。かてて加えて一億一千数百万円の負債があり県ならびに自治省から、財政再建計画を樹てなければ各種事業は全部中止するといわれ、議会において財政再建特別委員会をつくり前後約三十回会合し一応計画案を作り自治省の許可を得る段階にまでに到達しました。

しかし本年度は逐次軌道にのせ発展施策をし前途輝かしい市政にしたいと考えています。

再建計画樹立のため諸事業の削減、人員整理、補助金の減額など市民の皆様に大変迷惑をかけますが、いましばらく辛抱をお願いします。

なお、再建達上においても当然やるべき事は着々やつて行き度いと考えています。例えば学校の建築、道路、橋梁、河川用水路等公共事業及び国県の支出による施設などし世道人心の正常化に努め度と考えます。

なお商工業の発展についても政府の倍増施策を考え向上発展する様努力を致す考えであります。

市執行部も議会も市民も打つて一丸となり南国市第二年の成果を挙げたいと存じますのでよろしくお願い致します。

国民健康保険のあらまし

昭和三十六年四月一日から南国市でも国民健康保険がはじまります。

国民健康保険は、日頃の病気や負傷のために思わぬ費用がかかる場合、医療費の半額を保険で負担することになります。

南国市の区域内に住所を有する者はすべてこの保険の被保険者となるわけで、自分は保険に加入したくないと云つてもそういうわけにはいけないことになつています。

しかし勤務先などで別の法律によつて作られている保険の被保険者、例えば、健康保険法による健康保険組合の被保険者やその被扶養者、船員保険法、国家公務員共済組合法、公共企業体職員等共済組合法、市町村職員共済組合法、私立学校教職員共済組合法などによる被保険者や、その被扶養者、日雇労働者健康保険法により日雇労働者健康保険被保険者手帳の交付を受けて一年を経過しない者及びその者の被扶養者、生活保護法による保護を受けている世帯、国民健康保険組合の被保険者、国立らい療養所の入所患者などは、この国民健康保険の被保険者とはなりません。

このように他の保険や共済組合等で保険給付が受けられる者以外の一般の人々、例えば農業、林業、漁業従事者、商店経営者とその家族の方々は、老幼男女を問わずいわゆる強制加入となるわけです。それから修学のため県外などに出ている学生も出身地の市町村の国保に加入することになります。

病気やけがをしたときは、市役所からもらつた被保険者証を医師の窓口に提出すれば診療してもらえます。治療費は半額（同じ病気については三年間）になります。

国民健康保険の被保険者には、保険料（税）がかかります。保険料（税）はふつう所得割、資産割、人数割世帯割によつて算出した額の合計額を世帯主にかけることになるわけですが、その額は毎年市の被保険者の医療費がどれだけいるかによつて高くなつたり安くなつたりすることがあります。市町村によつて保険料（税）がそれぞれちがうのはそのためです。

だいたい普通の世帯で一年間に四千円くらいかかると考えられます。世帯主はこの国民健康保険に関するいろいろの届出をする責任者となります。

世帯主は、自分が他の保険の被保険者になつているため国保に加入しないような場合でも、世帯員の中にこの国保に加入しなければならない者があれば、そのことを届出なければならないわけです。

その他世帯員に異動があつた場合などもそれぞれ十日以内に必ず届けなければなりません。

市役所では、市民課に国民健康保険係を新設して保険事業開始の準備を進めておりますが、住民の皆さんの中でこの国民健康保険に加入しなければならない方々がどれだけあるか等について、各地区部落毎に、調査員の方に調査していただくよう計画しておりますのでご協力をお願いいたします。

（市民課国保係）

冬山の恐怖

お屠蘇気分の抜けきらない三日、後免中町の岡田紀典君を含む、高知市立商業高校生三人の県境三嶺山事故は、なんといつてもいたましい。

南国土佐での冬山遭難事故は珍らしいことだが、海抜一、八九四米もの山頂附近の気象条件はとても南国土佐ではありえない。ここに事故の原因がありはしなかつたか、有望な若人の死を悼むとともに、こうした事故を再び繰り返さないことを念願しつつ少し考えてみたい。

若人が登山のスリルを満喫する気持は解るし、よいことであるが、南国人故に冬山に、そして吹雪に対する甘い考え方がありはしなかつたか、山の気象条件に対する智識と十分なる装備等万全であつたか、軽い気持での登山自体が、冒険ではなかつたかということである。

吹雪に縁のない土佐人であつてみれば唯しも、吹雪の恐怖がどんなものか知らないのは当然であろう。文書によく猛吹雪と書かれてあるのを見受けるが吹雪に猛の字は適用しない　吹雪そのものがすべて猛であるからである。

本当の吹雪は、いつも通いなれた平坦地の道であつても我が家を目前にして行倒れて死んだ人は多い。まして高い山で吹雪の襲来に逐つては絶体的だ。

丁度蝋取り紙にかかつた蝿の運命と同じことだ、一切の視界は絶たれ、道も方角も失ない、やがて谷間に落ちるか、身の動作と感覚は奪はれ尊い命を失うにいたる。

夏山もさることながら特に冬山登山については、豹変する気象現象と、吹雪の恐しさを忘れてはならないことを強調したい。

北海道生活十年の経験からして山を愛する人にあえて愚言を呈する。

支所出張所について

市議会議員　沢村武一

一、支所では、戸籍、諸証明、徴税、配給、福祉、農地（土地台帳）等関係地区民大衆の日常生活に最も関係の深い事務を処理している（もつとも徴税は、市金庫の関係で農協が取扱うことゝなる。）外に、関係地区民の各種相談に応じ、広くこれが指導サービスに当つている。所謂役所としての処理件数、統計等に表すことの出来ない、雑件の非常に多いことを決して見逃すことは出来ない、これ等綜合的な存在によつて末端市民も亦日常生活に於て不安不便を感ずることなく日々の生業にいそしむことが出来る。

出張所の処理事務内容は、支所とは異なるも其の使命も亦大きなものがあると考える。即ち、支所、出張所は、本市行政上不可欠の重要な機関である。

いま、隣接高知市の行政のあり方を見るに、平坦にして、交通は最も便利でありかつ、南財政は困難にしていながら増税をよぎなくされているに拘わらず、周辺には、旧村単位に凡てに支所を存置して末端市民の為に、指導サービスに当らしていることは大いに参考としなければならない。

一、次に本市の財政との関係であるが、本市には、一億一千三百万円の赤字があり、議会内に財政調査特別委員会を設置して、財政再建のため、各種の調査研究をして参つた。およそ、財政の健全化、赤字解消対策の根本は、「入るをはかつて、出づるを制する」即ち人の増加をはかる一方才出の減をはかるにあると信ずる。この場合為政者の最も留意すべきは、四万市民に対し公正な行政措置を講ずることであつて、末端市民に特に歪寄せをもたらすが如きは絶対に許されないことであると考える。未完

コークス登場

加温園芸の燃料に

加温園芸の十市地区ではこれまで燃料にマキを使つていたが、最近マキが入手難となり、価格も従来より高くなつたため、本年は大量に九州産のコークスを買い入れた。

マキよりも値が安いうえに一度くらべると三、四時間もちこたえ、火力も強い。マキのようにつき切りの必要もなく、ここ二、三年頃にはオールコークスになりそうだ。

なお価格は一トン当たり一万円余り。‖写真は十市の園芸地帯に集積されたコークスの一部（上）とマキの山。

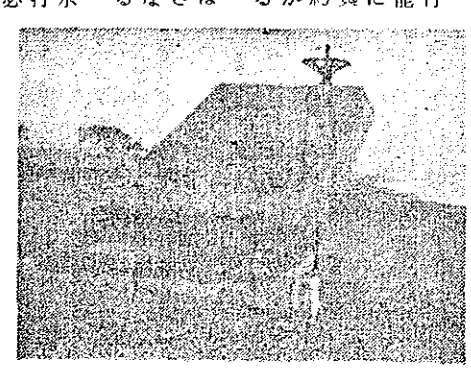
冬中水びたしで増収？

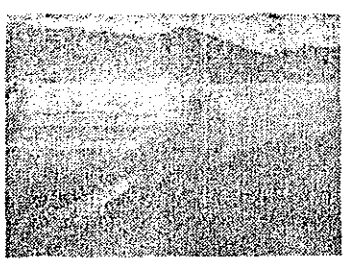
冬季に耕土を反転させて寒気や太陽に当て乾燥させるのが水田経営に一番よい定石なのに、この逆をゆき、水びたしにしているところもある。

その団地化して多いのが十市地区の東沢。

ここは耕作期間中は後川の原因の第一は南海地震による地盤の沈下このため放水路も開設されていたが、設計にあやまりがあつて完全排水の目的を達しないので昨年約一千万円の工費を投じ地沈対策事業として排水路の改修と延長、防潮堤築造が行なわれ排水機能万全となつたのに冬季になると写真（上）のように約三十センチメートルが水底に沈んでいるそれというのは、この方面の水田は冬季耕土を乾燥させると収穫が少ない上質条件があるためだそうだ。

（写真下は新排水路の放出口で波打ちぎわにあり、必ハケ具合が悪くて浸水し、減収地帯となつていた。





※　※

南国農改普及所管内の農研発表会は、二月中旬市内で開かれる（予定）県下農研発表会と同時に行なわれる予定で普及所が準備を進めている。

要に応じハンドルで開閉するようになつている。）

協和号は世界の農機

協和農機株式会社

社長　楠瀬慶吉

南国市里改田

TEL（稲生）27・28・49

耕脱籾
起穀摺
機機機

農耕はピンからキリまで協和号

全国の　世界の
農家に必ず
みられる協和号

県議会議長　田村良平　南国市久礼田

県議会議員　井上泉　南国市稲生

純喫茶　ACB　南国市後免町横町　TEL47

割烹　ゆり

新春を祝し
本年の豊作を祈ります
クボタ式エンジン耕耘機で始めて
協和の自脱と籾摺で最後に
カンリユ式乾燥機で仕上げましょう

山岡農機商会
後免町　TLE18